

お客さま各位

2016年6月25日

株式会社 GCI アセット・マネジメント

英国国民投票を受けた市場環境および弊社ファンドの運用状況について

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。

6月23日に行われた英国国民投票において、英国はEUからの離脱を選択しました。これを受けたグローバル金融市場の動向と、弊社ファンドの運用状況について、下記の通りご報告致します。

1. 英国国民投票の結果とグローバル金融市場の動向について

英国選挙管理委員会によれば、国民投票の結果は「離脱」51.9%、「残留」48.1%となり、国民投票はEUからの離脱を選択しました。この結果を受け、英国のキャメロン首相は辞意を表明しました。

大方の市場予想を覆す結果となったことから、市場は大きな調整を余儀なくされています。24日のアジア時間に離脱派が優勢と伝わるとアジアの各国市場は大きく下げ幅を拡大し、同日のグローバル株式市場は全面安の展開となりました。為替市場においてもドル円為替が2年半ぶりに一時100円割れとなったほか、英ポンドは対ドルで一時1985年以来の安値をつけました。

指標名	指標値 (平成28年6月24日)	前日比 (平成28年6月23日比)	変化率
日経平均株価指数	14,952.02	-1,286.33	-7.92%
NYダウ工業株30種指数	17,400.75	-610.32	-3.39%
MSCIヨーロッパ指数	108.71	-7.99	-6.85%
ドル/円為替	102.22円	-3.94円	-3.71%
ポンド/ドル為替	1.3679ドル	-0.1198ドル	-8.05%
GCIエンダウメントファンド(成長型)	10,320	-55	-0.53%
GCIエンダウメントファンド(安定型)	10,281	-40	-0.39%

(注)Bloombergのデータを元に、GCIアセット・マネジメントが作成。

2. 弊社ファンドの運用状況について

弊社が運用するGCIエンダウメントファンド(成長型・安定型)は、米国名門大学基金が実践してきた運用手法を模範とする長期かつグローバル投資を行っておりますが、基本資産配分として成長型では35%、安定型では15%を株式へ振り向けることとしていることから、株式市場の下落を受け、基準価額は下落しました。

一方、GCI エンダウメントファンドにおける特徴の 1 つとしてオルタナティブ戦略の基本資産配分を 30%と設定しておりますが、オルタナティブ戦略の一部として組み入れている GCI システマティック・マクロファンド クラス A は、独自開発の動的ポートフォリオ・モデルが有効に機能し、月初から 23 日までに +8.2%のリターンを獲得しております。さらに、金融市場の混乱が顕著となった 24 日には 1 日で実に +8.5%のリターンを獲得しており、株式の下落分をカバーするリスクヘッジ効果を発揮して、GCI エンダウメントファンドのリターン底上げに貢献しております(リターンはいずれも推定値。日付はいずれも実時点ベースであり、国内投信への計上ベースとは異なるため、前頁の 24 日基準価額には未反映)。また、GCI エンダウメントファンドは、原則として為替リスクをフル・ヘッジしていることから、24 日にかけて急速に進んだ円高の影響も回避しております。

3. 今後の見通し

2016 年 6 月 24 日の金融市場の動乱は、リーマンショック級の相場変動として将来語り継がれることになりそうです。国民投票で方向性が示された以上、英国は今後 EU 離脱に向けて動き出すこととなりますが、目先は EU 離脱による影響を見極めるべく、神経質かつ値動きの激しい展開が見込まれます。各国の政策対応や、株式市場についても一旦下値を固めた後の上昇に期待する向きもありますが、英国の離脱交渉が難航することも想定されること、早くも英連邦分裂という報道がなされていること等を考えると、今後もボラティリティが急騰する不安定な相場展開を想定しておく必要があります。グローバル市場全体を見渡すと、それ以外にもいくつもの大きな潜在的リスクが存在しており、市場はむしろ脆弱性を増しているとみています。

GCI エンダウメントファンドは、株式・債券・オルタナティブをコア 3 資産とする基本資産配分を維持しながら、シンプルかつ効率的に一定のリスクをとり続けるというブレのない運用姿勢が大きな特徴です。GCI エンダウメントファンドの大きな特徴であるオルタナティブ戦略において採用する GCI システマティック・マクロファンド クラス A は、今年 1-2 月にかけての株価急落の局面でも、2 か月間で+14.8%(実時点ベース)のプラスリターンを獲得しており、今回のような相場の急落局面下でも収益を確保することによるリターンの底上げ効果を発揮しました。引き続き、市場動向に振り回されたり一喜一憂したりすることなく、今回のようなボラティリティ上昇時に強い特性を持つオルタナティブ戦略を活用した分散ポートフォリオを堅持し、長期運用を継続してまいります。

以上

文責：GCI エンダウメントファンド・運用チーム

代表取締役 CEO 山内 英貴

インベストメント・マネージャー 狐塚 仁